

研究課題名	緑内障および白内障手術後の視力予測 AI 開発についての研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 教授 木内良明
研究期間	許可日 ~ 2027年3月31日
対象者	令和4年(2022年)1月から令和8年(2026年)年3月の間に、広島大学病院眼科を緑内障疾患で受診し、一般眼科検査を受けた20歳以上の患者さんを対象とします。
意義・目的	<p>近年、医療 AI の開発が進んでおります。医療 AI の開発により、診断の補助やヒューマンエラーの減少など医療の質の向上が考えられます。</p> <p>緑内障は多因子性の眼疾患であります。緑内障の危険因子として眼圧、近視、高年齢、乳頭出血などが報告されています。しかし、初期の緑内障は自覚症状が少なく、早期発見が難しいです。また、緑内障の主な症状である視野欠損を自覚した時には緑内障は進行した状態であり、緑内障によって障害された視神経は手術をしても元に戻すことはできません。</p> <p>緑内障は加齢と共に有病率も上がり、白内障と同時に手術をすることが多いです。</p> <p>本研究によって緑内障と白内障手術後の視力予測が可能な AI を開発することで、手術前にどのくらい視力が出るのかを予測することが可能になります。患者さんの QOL 向上に大きく貢献できると考えられます。</p>
方法	<p>本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。カルテから使用する内容は眼疾患名、年齢、性別、眼所見、視神経乳頭形状、網膜・脈絡膜の厚み、眼軸調、前房深度、角膜曲率半径、視力、屈折、眼圧です。</p> <p>これらのデータを用いて術後視力予測 AI を開発します。開発について東京医科歯科大学 M&D データ科学センター AI システム医科学分野に医療 AI 開発の専門的なアドバイスを頂きます。診療録(カルテ)情報を東京医科歯科大学に提供することはありません。</p> <p>取得した情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報进行削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。</p>
研究の実施体制	<p>研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 教授 木内良明</p> <p>共同研究機関</p> <p>東京医科歯科大学 M&D データ科学センター AI システム医科学分野 教授 清水秀幸</p>
試料・情報の管理責任者	広島大学医系科学研究科 視覚病態学 教授 木内良明
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5247

広島大学大学院・医系科学研究科 視覚病態学 職名 大学院生 中新井田悠太
教授：木内良明